

子ども被害の発生状況について

- ・ 午後2時から午後6時（下校時間帯）までの間に集中
- ・ 誰でも入ることができて、大人の目が届かない場所
- ・ 子どもがひとりであるとき

危険を予測しよう

① こんな人に注意（行動）

- ・ 同じ場所をウロウロしている人
- ・ あとをつてくる人
- ・ じっと様子を見てくる人
- ・ 勝手に写真などをとってくる人
- ・ 知らないのにしつこく話しかけてくる人

② 誰でも入ることができて大人の目が届かない場所に注意

- ・ 人がいない公園やトイレなど（誰もいない）
- ・ 人通りが少なく暗い道（誰もいない）
- ・ 見通しの悪い駐車場の車の影（外から見えにくい）
- ・ 落書きやごみ等が放置されている場所（住民が無関心な場所）



ぼうしやサングラスをかけてるとは
がぎらないからちゅういしよう！



誰でも入れる場所（公園や道、男女共用トイレ等）は不審者も入りやすい

※誰でも入れない場所・・・学校、男女別に分かれているトイレなど

人のいない場所では、被害にあっても誰も助けてくれない

住民が無関心な場所は、被害を受けても、誰も気が付きにくい



人は見かけではわからないので、変な行動をする人がいれば危険です

5つの約束

- 一人で遊びません
- 知らない人について行きません
- つれて行かれそうになったら大声を出して助けを求め、「こども110番の家」へにげこみます
- だれとどこで遊ぶか、いつ帰るかを家の人に言ってから出かけます
- お友だちがつれて行かれそうになったら、すぐに大人のの人に知らせます

はな あ
よく話し合おう!



家に帰ったら今日あった
ことを家族の人に話します

「変だな、おかしいな」と感じた人に道で出会った場合

- 引き返して、別の道を通りましょう（勇気を持って引き返す）



変だなと感じた人から、4m以上は離れましょう

引き返す時は、忘れ物や道に迷うふりをしましょう

- 他の人（大人）が通るのを待って、一緒に通行する
- どうしても通らないといけない場合は、すれ違う時に間をあけて素早く通り過ぎる

すれ違うときは、1.5mは間をあける（大人の腕2本分）

この間は大人が一步前に出ててもギリギリ届かない距離になります

連れて行かれそうになった場合

- 言葉たくみ（道を聞くふり・物をあげるふり・うその話）に声をかけて、連れていこうとしますが、絶対についていけない



「いやだ！ いらない！ いかない！」など、キッパリ断る事が大切です



- 危ないと思ったら、ためらわず、大声を出して助けを求め、防犯ブザーを鳴らしながら走って逃げる



身振り手振りも一緒にする

荷物を置いて、身軽になれば早く走れます

不審者は、20m逃げられるとあきらめる場合が多い



常に意識をしていないと、いざという時にできません

※実際に大声を出せた人、防犯ブザーを鳴らせた人は

非常に少いです



- 近くの大人に助けを求める



近くのコンビニやお店、子ども110番の家などに逃げ込む



つかまってしまった場合

① 不審者に後ろからつかまれた場合の逃げ方

ランドセルを捨てて逃げましょう



両手を下にのばしてペンギンのポーズをとれば、ランドセルが腕から
すっと抜けます

② 不審者に前から手をつかまれた場合の逃げ方

おしりを地面につけ、ジタバタして、相手のすねを蹴って逃げます



おしりを地面につければ、より強い力になります

③ 不審者から逃げるための方法

手を捕まえられたら、その手にかみついて、逃げます

傘やかばんなど身近にある物を振り回して、ひるんだ隙に逃げます

もちろん大声で助けを呼ぶことも一緒にしましょう



たとえ不審者に捕まった場合でも、決してあきらめないで逃げましょう



かみついたり、物を振り回したりは、危険なので、子ども同士では絶対にしない

だれ いえ かえ ば あい 誰もいない家に帰る場合

- 家の近くですることは
後をつけられていないかを確認しましょう
- カギをとりだす前にすることは
直前までカギを持っていることに気づかれないようにしましょう
- ドアを開ける前にすることは
周りを見て、すばやくドアを開けましょう
- 家の中に入る時にすることは
誰もいなくても「ただいま」と言いましょう
家に入ったら、すぐに戸締りをしましょう



る す ばん と き だれ き ば あい 留守番の時に誰かが来た場合

おうちの人とルールを決めましょう

<ルールの一例>

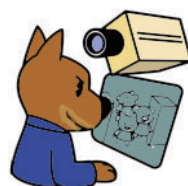
- 誰が来たのか分からない時は、インターホンのモニターやドア
スコープをのぞいて相手を確認する（ドアチェーンは必ずかける）
- 知らない人の場合、ドアを開けない（出ない）

宅配便で、前もって家の人から聞いている場合は、インターホンなどで

荷物の差出人の名前を確認してから、受け取ります

家の人から聞いていない場合は、不審者が宅配便の業者になりすまして

押し入る事もあるので、出ないようにしましょう



**子どもだけで留守番をしている時は、玄関のドアは開けないなど、ルールを
決めましょう**

留守番の時に電話がかかってきた場合

- 基本的には知らない人からの電話には出ない方がよいです
(最近の電話は、留守番機能や番号通知機能が付いているものが多いので、普段から家族の人と相談して、どうするか決めておきましょう)



電話に出る時、相手が知らない人の場合は、
子どもだけで留守番しているのを感じられない
ようにしよう



まとめ



① ひとりにならないこと

- 帰るときはみんなで一緒に帰りましょう

② 勇気を持って大声を出すこと

- 大声は最大の武器(防御)。遠くの人にも知らせることが出来ます

③ つかまっても、けっしてあきらめないこと

- つかまった時は、どんなことをしても逃げるのをあきらめない

④ 留守番の時はドアを開けないなど、ルールを決めましょう

- 子どもだけで留守番しているのを感じさせない

